

17
モ一七
聖徒伝 33

「法がもたらす 規範と自由」

出20～24章 シナイ契約・諸条項

【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. 律法とは？

II. 律法の恵みを味わおう!!

- ①締結の前準備 20:18～26
- ②諸条項 21～23章
- ③契約の締結 24章

III. まとめと適用

神の恵みは、契約に基づく恵み
クリスチャンへの約束と恵みとは？



イスラエルの歩みは
すべて アブラハムへの
神の約束から始まった

神は、
選びに応えたアブラハムを祝福され、
土地の授与と 子孫の繁栄を告げ、
その子孫から、全人類を救いに導く
メシアが誕生することを約束された。



【予告された400年の奴隷の苦難】 創15:13～14

「あなた(アブラハム)の子孫は、自分たちのものではない国で寄留者となり、彼らは奴隷とされ、四百年の間、苦しめられよう。しかし、彼らの仕えるその国民を、わたしがさばき、その後、彼らは多くの財産を持って、そこから出て来るようになる。」

■ アブラハムへの約束通り、

150年後、大飢饉を逃れて、一族はエジプトへ。

■ 400年で一大民族に成長したイスラエルは、

多くの財をもって、エジプトを脱出することに!!



【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

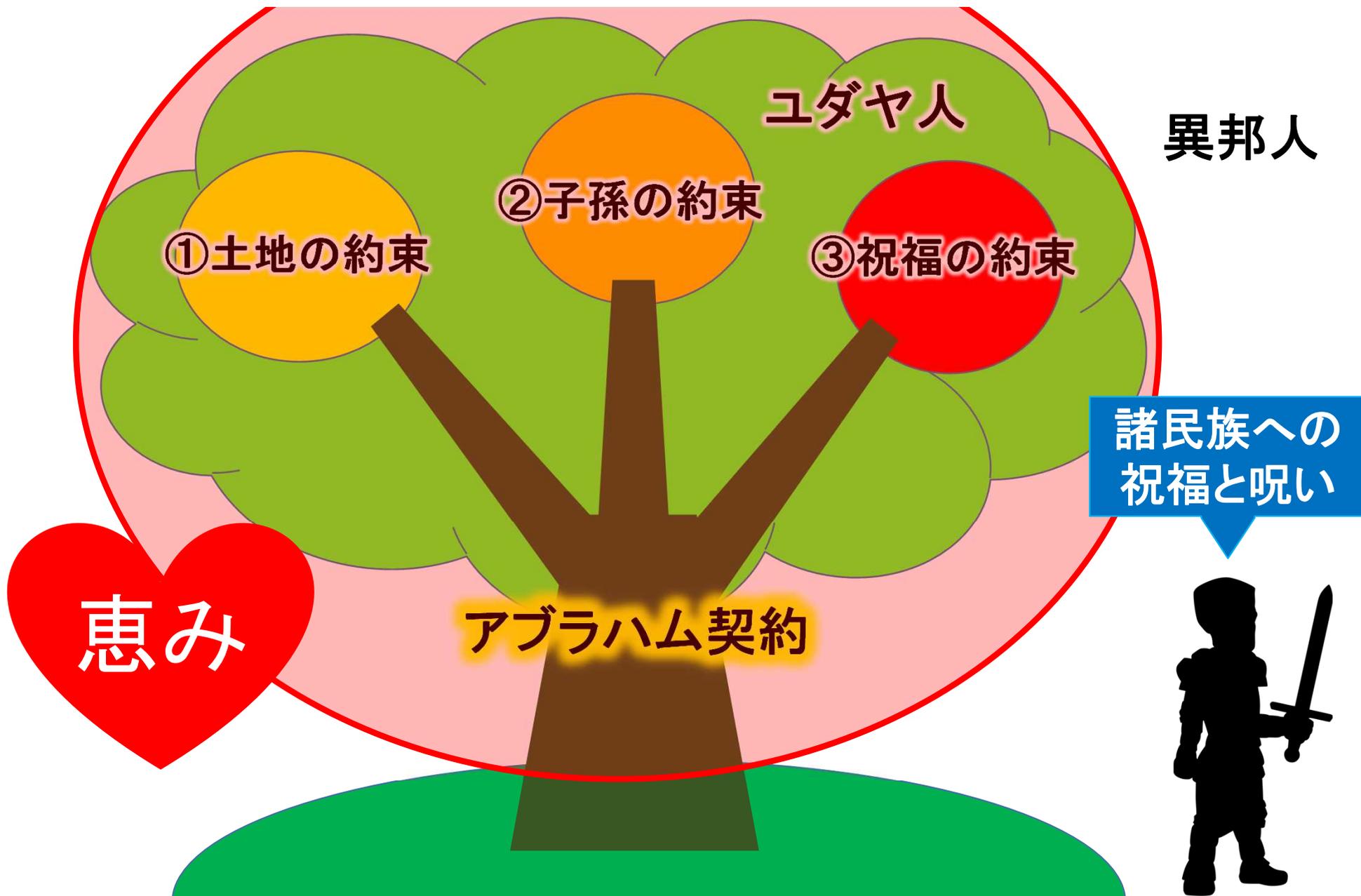
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

※しるし ...割礼

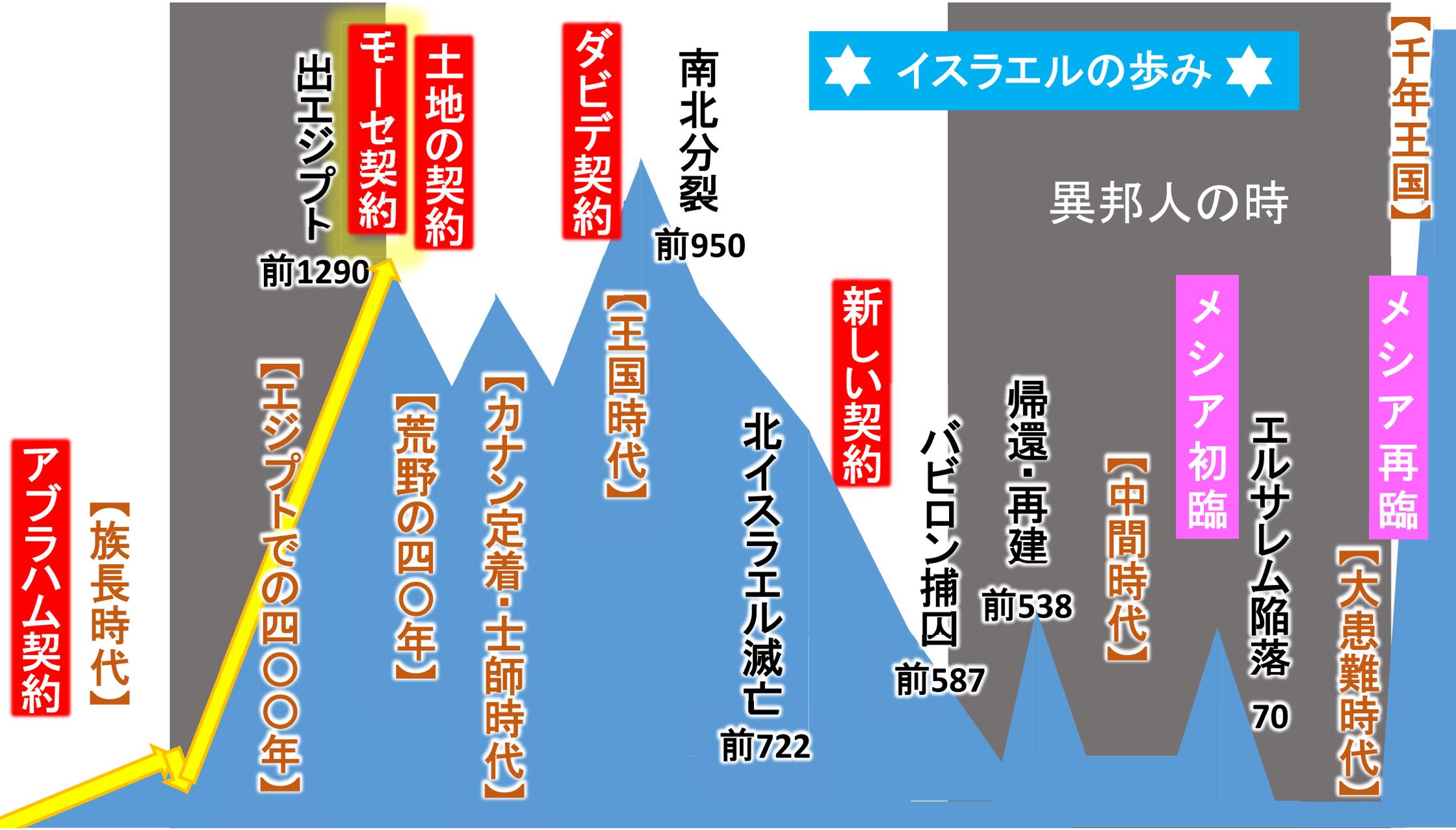
イスラエルのエジプトでの400年も、
アブラハム契約のゆえに守られた!!



【アブラハム契約】



★ イスラエルの歩み ★



【モーセの生涯】 誕生～40歳～80歳

- エジプトの王女に拾い上げられ、王宮で育つ。
- 40歳の時、逃亡者となり、40年間を荒野で過ごす。
- 80歳の時、イスラエルの指導者として召命される。
- パロとの交渉は決裂し、エジプトに災いが下る。
- モーセは、イスラエルの民を連れ、エジプトを脱出。
葦の海を渡り、荒野を横切り、シナイ山へ。
- シナイ山に、神が顕現され、モーセを仲介者として
律法を授与された。律法の中である十戒が、
民の前で読み上げられた。



0～40歳

40～80歳

80～120歳

奴隸の子として誕生

王の子として成長

逃亡者に
40才

ミディアン人の娘チツポラと結婚

荒野での羊飼生活

召命 80才

十の災い

出エジプト

シナイ契約

民の反抗

荒野の四〇年

土地の契約

召天

【モーセの生涯】

【モーセの律法 十戒とは？】

★モーセの律法(モーセ契約・シナイ契約)

- ・シナイ山で、イスラエルと結ばれた契約
- ・「十戒」がその中心 ...全部で613の条項
(出20:1～申28:68)

★モーセの律法の七つの特徴

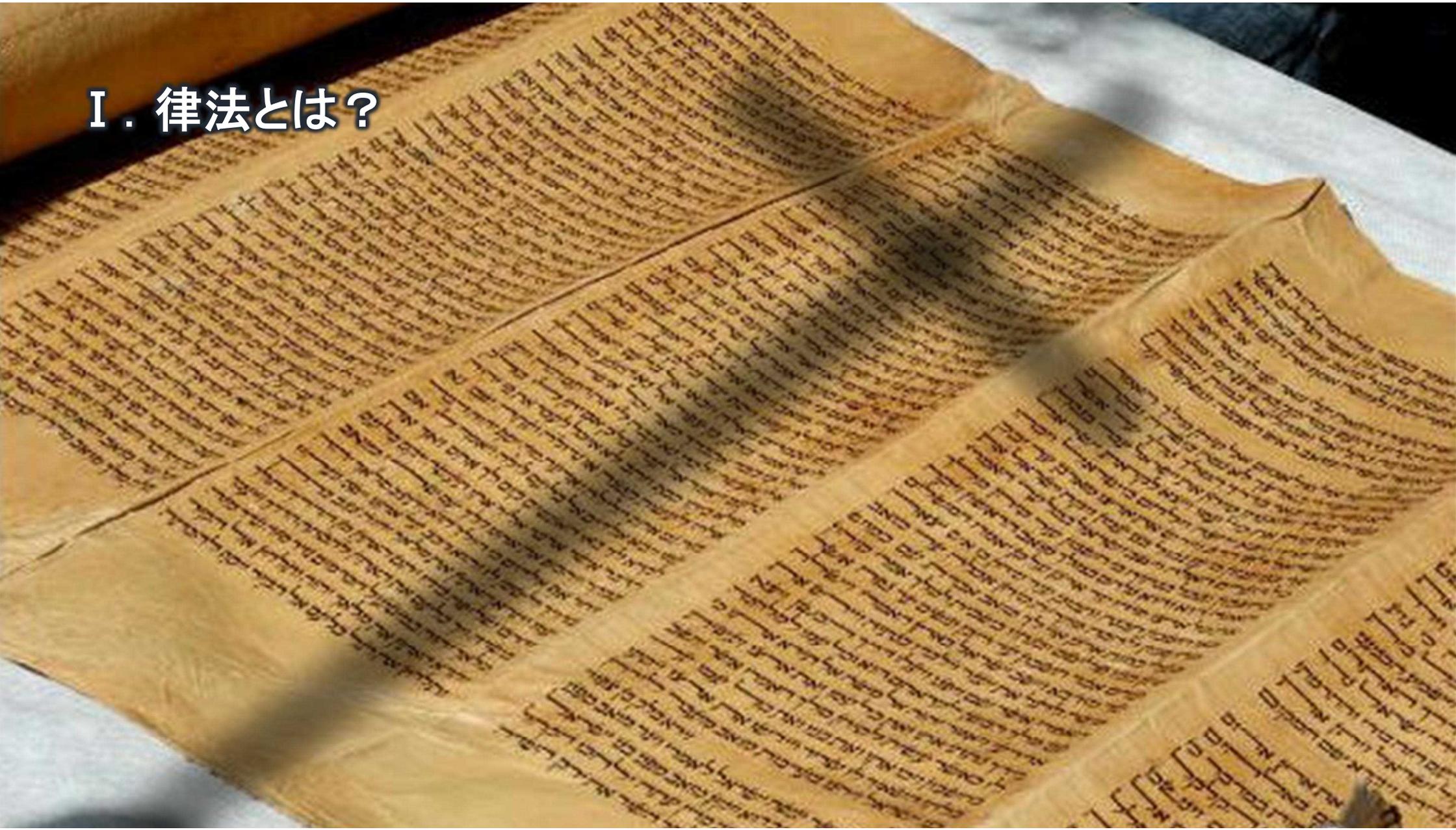
- ①救いの方法ではない。
- ②神が聖であることを示す。
- ③旧約時代の聖徒たちの行動基準である。
- ④人の罪を示す
- ⑤人にもっと罪をおかさせる力となる。
- ⑥人を信仰へと導く
- ⑦今現在は、すでに役目を終えた。

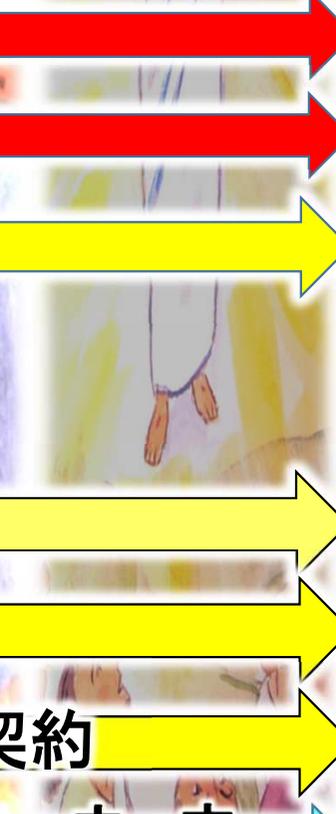
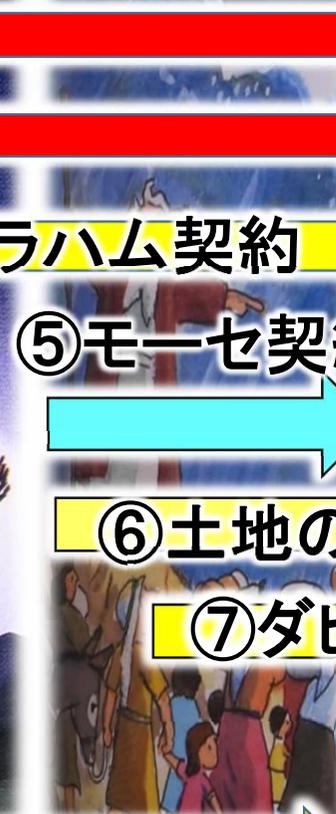
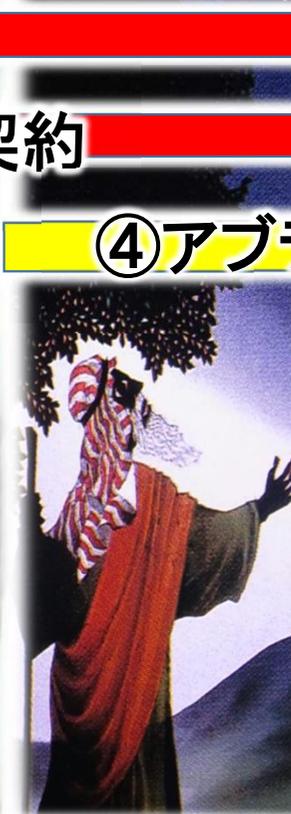
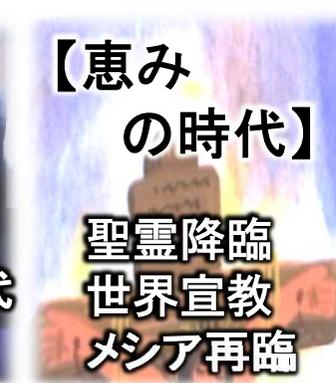
律法は、イスラエルを導く、飴と鞭

罪を思い知らせ、救い主へ導く



I. 律法とは？





【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

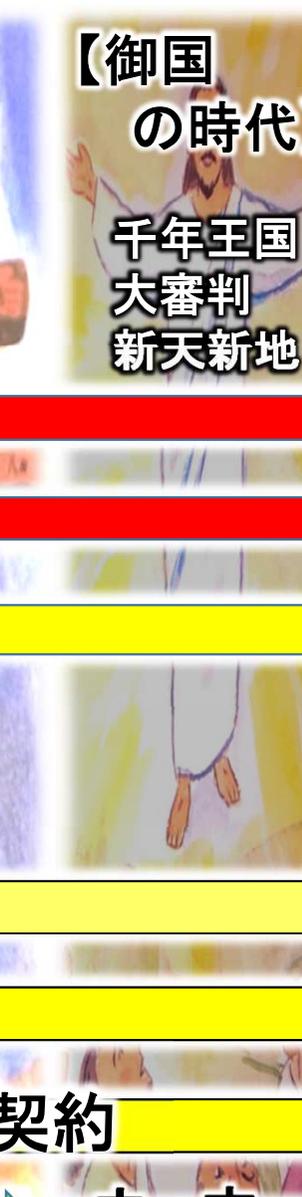
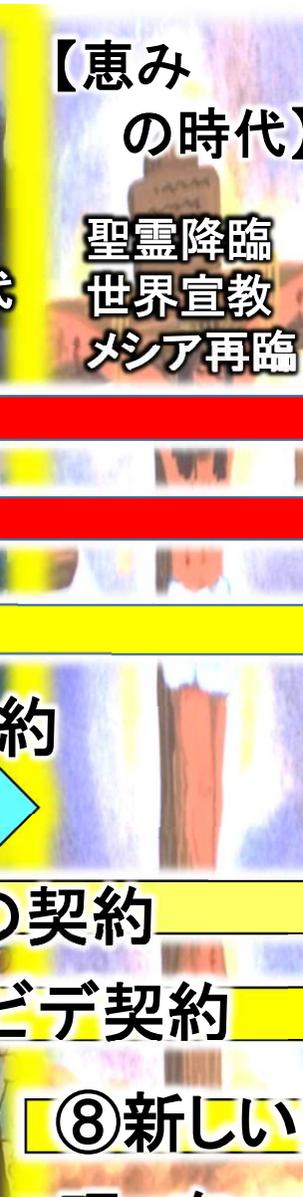
⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

過去

現在

未来



【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

【神の与える法とは何か？】

■エデン契約、アダム契約、ノア契約、
アブラハム契約、そして、シナイ契約(律法)。

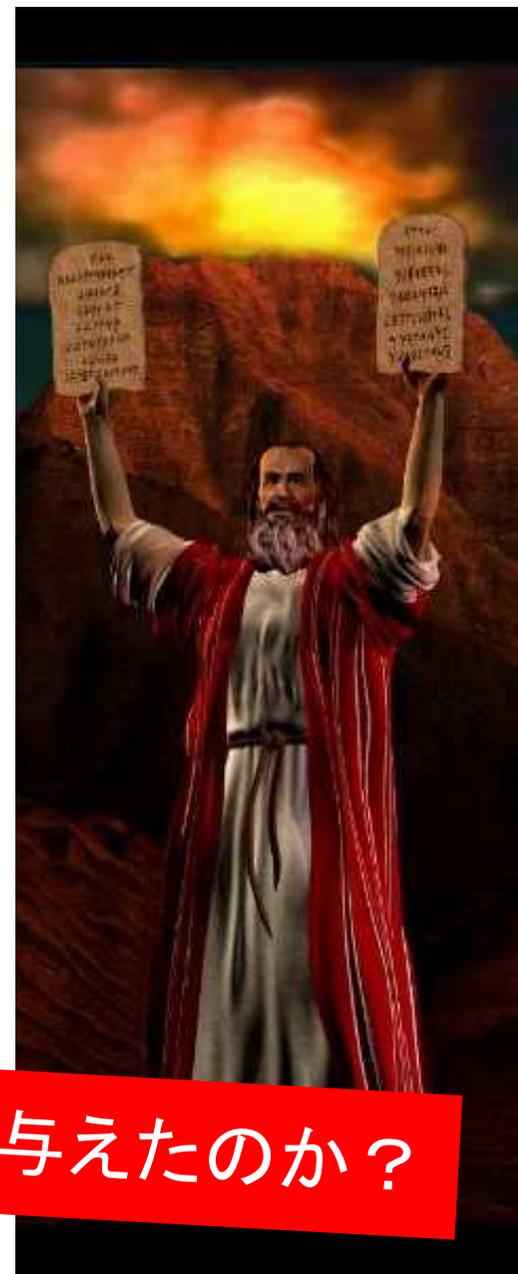
➡ これらの神の契約は、法秩序に基づくもの。

■いずれの契約にも、義務や禁止事項などが含まれ、
何らかの法や掟に基づく契約となっている。

■契約の背後にある法の存在が、律法で明らかに!!

■人に法を与えたのは、神。

なぜ、神は、人に法を与えたのか？



【法が、人にもたらしたもの】

■ 法は、束縛？ では、法がなかったら？

■ 無制限に、人に、正しさが求められたら？

いったい誰が、神のもとにたどり着ける？

➡ ルールのない競技、ゴールのない競争は、
不法と無秩序、終わりのない戦いに!!

■ 神は、人が迷子にならないよう、ルールとゴールを
与えられた。それが、神の法。

■ 法は、神ご自身に制限を加え、

私たち人間に、チャンスと自由を与えるもの!!

例)ヤボク川ヤコブと神との格闘。勝利の条件。

法は、神ご自身を縛り、

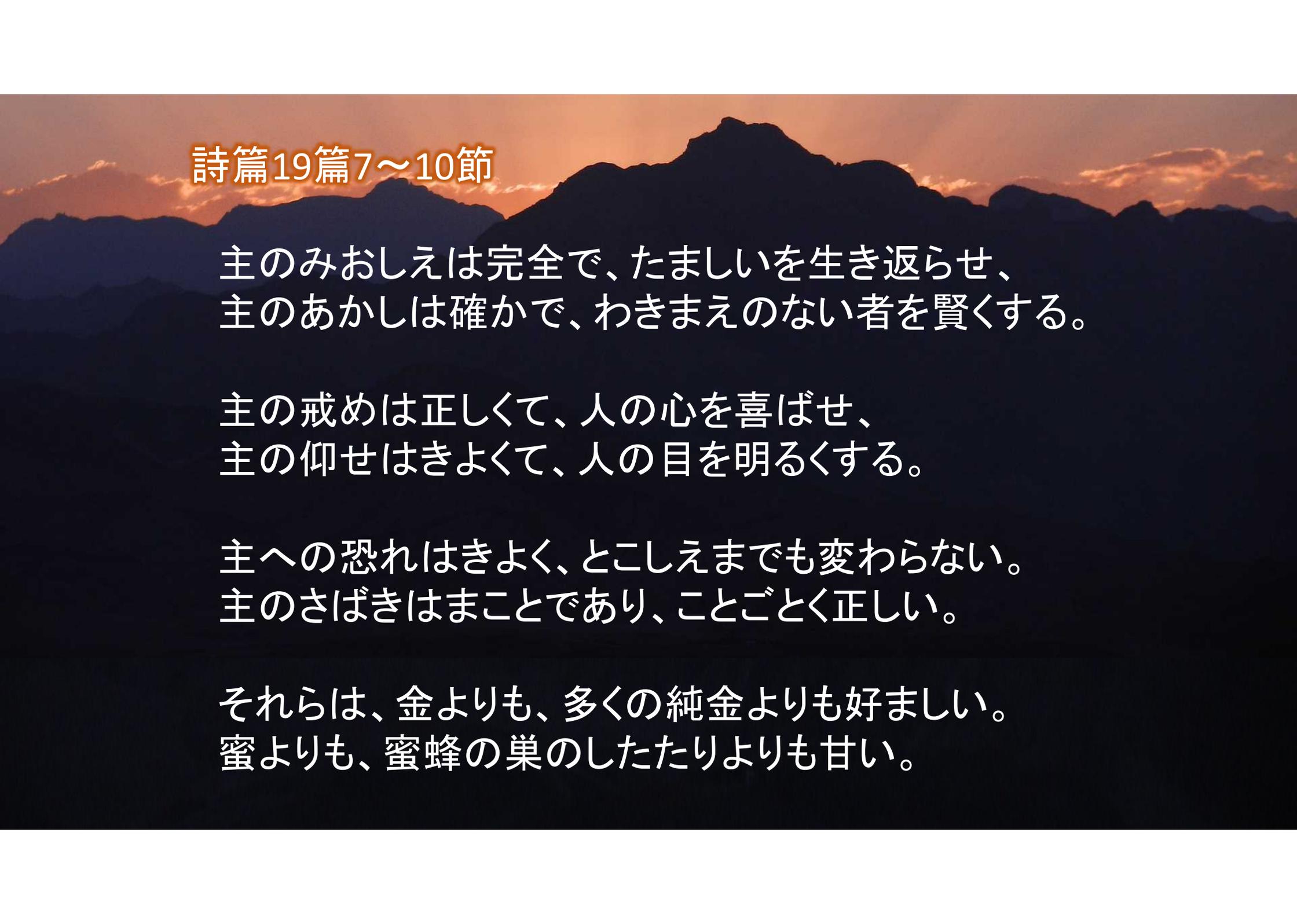
人に機会と自由を与える

【律法の意味と役割を確認しよう!!】

- 律法は、神からイスラエルに与えられた恵み。
- 律法は、イスラエルを破滅から守り、神のもとに導くもの。
- 律法は、人に、どうしてもない罪の現実を突きつける。
- 律法は、人に、真実の救いを求めさせる。
- 神が約束されたメシア、救い主こそ、律法のゴール。

主イエス・キリストが、十字架で律法の目的を成し遂げられた!!



The background of the slide is a photograph of a mountain range at sunset. The sky is a mix of orange, red, and yellow, with some clouds. The mountains are dark silhouettes against the bright sky. The text is overlaid on this background.

詩篇19篇7～10節

主のみおしえは完全で、たましいを生き返らせ、
主のあかしは確かで、わきまえのない者を賢くする。

主の戒めは正しくて、人の心を喜ばせ、
主の仰せはきよくて、人の目を明るくする。

主への恐れはきよく、とこしえまでも変わらない。
主のさばきはまことであり、ことごとく正しい。

それらは、金よりも、多くの純金よりも好ましい。
蜜よりも、蜜蜂の巣のしたたりよりも甘い。

Ⅱ. 律法の恵みを味わおう

① 契約締結の前準備

出エジプト記20章18節～26節

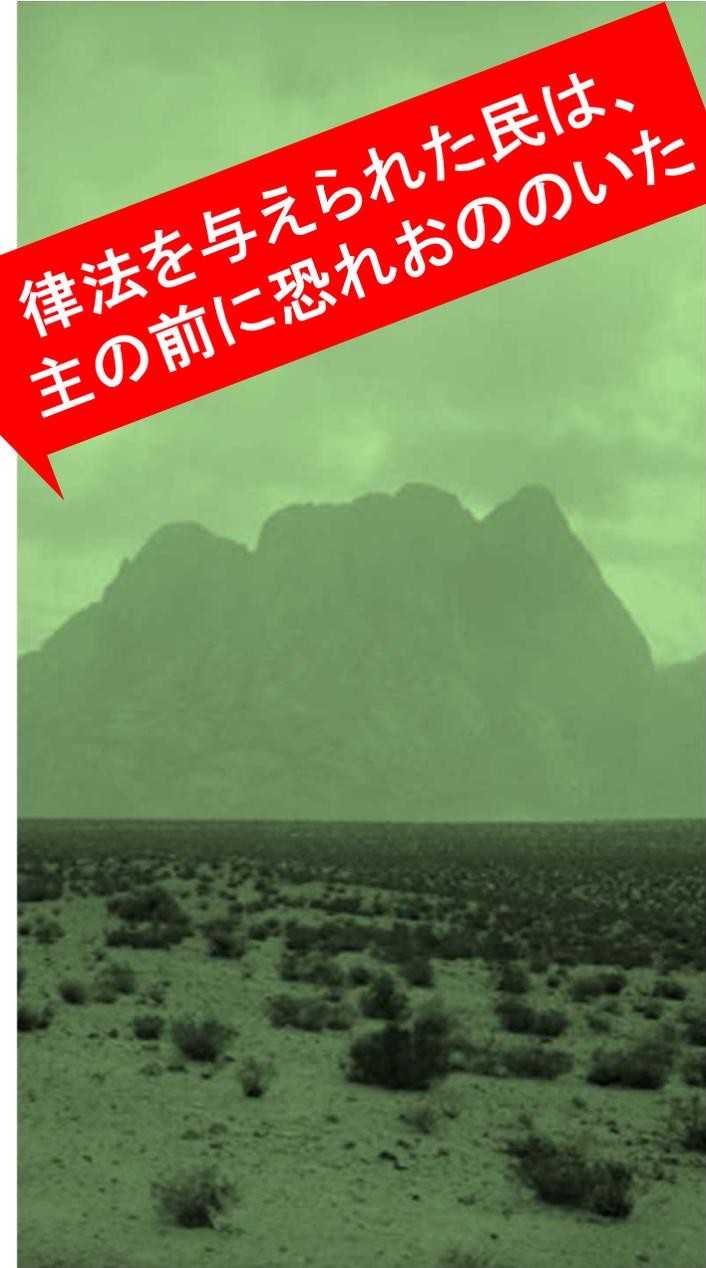


【神の栄光の顕現を前に】 出20:18～20

民はみな、雷と、いなずま、角笛の音と、煙る山を目撃した。民は見て、たじろぎ、遠く離れて立った。彼らはモーセに言った。「どうか、私たちに話してください。私たちは聞き従います。しかし、神が私たちにお話しにならないように。私たちが死ぬといけませんから。」それでモーセは民に言った。「恐れてはいけません。神が来られたのはあなたがたを試みるためなのです。また、あなたがたに神への恐れが生じて、あなたがたが罪を犯さないためです。」

- 罪ある人は、主の前に立つことはできない。
仲介者を通して与えられる律法が、民を支える。

律法を与えられた民は、
主の前に恐れおののいた



【主を知った者の責務】 出20:21～23

そこで、民は遠く離れて立ち、モーセは神のおられる暗やみに近づいて行った。

【主】はモーセに仰せられた。「あなたはイスラエル人にこう言わなければならない。あなたがた自身、わたしが天からあなたがたと話したのを見た。

あなたがたはわたしと並べて、銀の神々を造ってはならない。また、あなたがた自身のために金の神々も造ってはならない。」

■ 出エジプトのテーマは、体験的に「主を知ること」

■ 真実の唯一の主を知った者が、

偽りの神々を拝むなど、ゆるされないこと!!

主を知った者は、

主に従うことを求められる

【祭壇の規定】 出20:24～26

わたしのために土の祭壇を造り、その上で、羊と牛をあなたの全焼のいけにえとし、和解のいけにえとしてささげなければならない。わたしの名を覚えさせるすべての所で、わたしはあなたに臨み、あなたを祝福しよう。

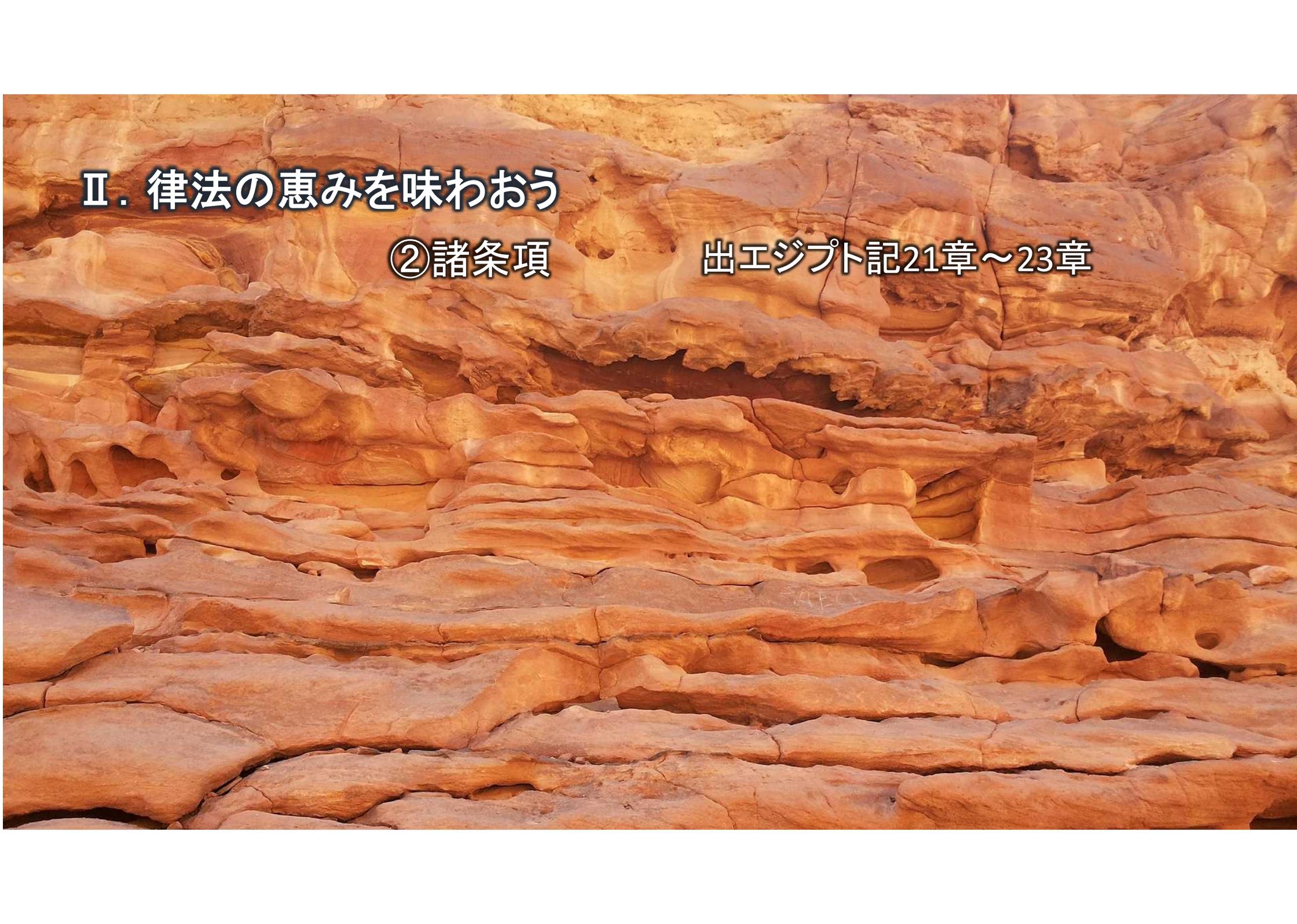
あなたが石の祭壇をわたしのために造るなら、切り石でそれを築いてはならない。*あなたが石に、のみを当てるなら、それを汚すことになる。

あなたは階段で、わたしの祭壇に上ってはならない。あなたの裸が、その上にあらわれてはならない*からである。

- 教えられるのは、犠牲を伴う礼拝の重要さ。
- * 礼拝にも忍び寄る、霊的・性的姦淫への警鐘!!



巨大な祭壇にも見える
シナイ山の麓で



Ⅱ. 律法の恵みを味わおう

② 諸条項

出エジプト記21章～23章

【律法の諸条項について】 出21~23章

■ 契約の締結は、徐々に進められていく。

➡ アブラハム契約も、何年もかけて締結に至った。

■ 締結の過程でも、イスラエルは学ばされていく。

■ 21~23章は、「判例法」の形をとっている。

➡ 十戒の、より具体的な適応。

➡ 現実には起こりうる様々ケースを想定した模範の型。

■ 律法全体が、来たるべきメシアを示す型(影)。

➡ その視点から、重要な箇所をピックアップして解説!!



【律法の諸条項】 出21～23章

- ① 奴隷について 21:1～10
- ② 死に値する罪(殺人・誘拐) 21:12～17
- ③ 身体・財産の傷害 21:18～36
- ⑤ 盗みと財産の保管 21:37～22:14
- ⑥ 処女の誘惑 22:15～16
- ⑦ 死に値する罪(靈的姦淫) 22:17～19
- ⑧ 弱者の保護 22:20～26
- ⑨ 祭儀的律法 22:27～30
- ⑩ 訴訟法 23:1～9
- ⑪ 安息年・安息日・祭り 23:10～19
- ⑫ 違反への将来的警告 23:20～33

メシアの型

メシアの型

イスラエルの選びと使命

イスラエルの選びと使命

メシアの型

イスラエルの選びと使命

【自発的奴隷の規定】 出 21:5～6

■ 奴隷に関する規定が最初？

トラブルも多かった？ 弱者保護の視点も。

「21:5～6しかし、もし、その奴隷が、『私は、私の主人と、私の妻と、私の子どもたちを愛しています。自由の身となって去りたくありません』と、はっきり言うなら、その主人は、彼を神のもとに連れて行き、戸または戸口の柱のところに連れて行き、彼の耳をきりで刺し通さなければならない。彼はいつまでも主人に仕えることができる。」

■ キリストは、自発的に人々の僕とられた。

➡ クリスチャンも「仕えなさい」と命じられている。



【目には目を？】 出21:24～25

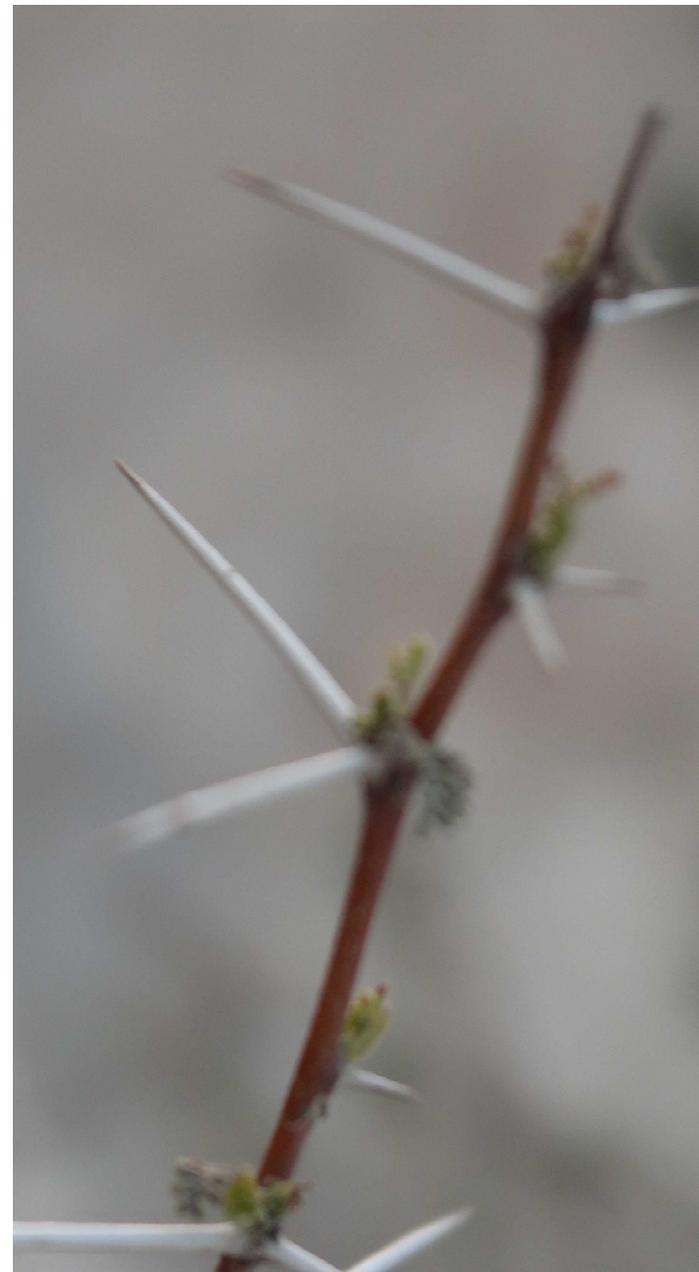
目には目。歯には歯。手には手。足には足。
やけどにはやけど。傷には傷。打ち傷には打ち傷。

■「同態復讐法」と呼ばれるもの
ハムラビ法典など、古代の法規定にも見られる。

■復讐を正当化するものではない!!

→復讐の範囲を厳密に定め、抑制するもの。
憎悪の連鎖を食い止めるのが目的!!

■実際は、金銭で贖うことが多かった。



【傷害の賠償】 出21:32

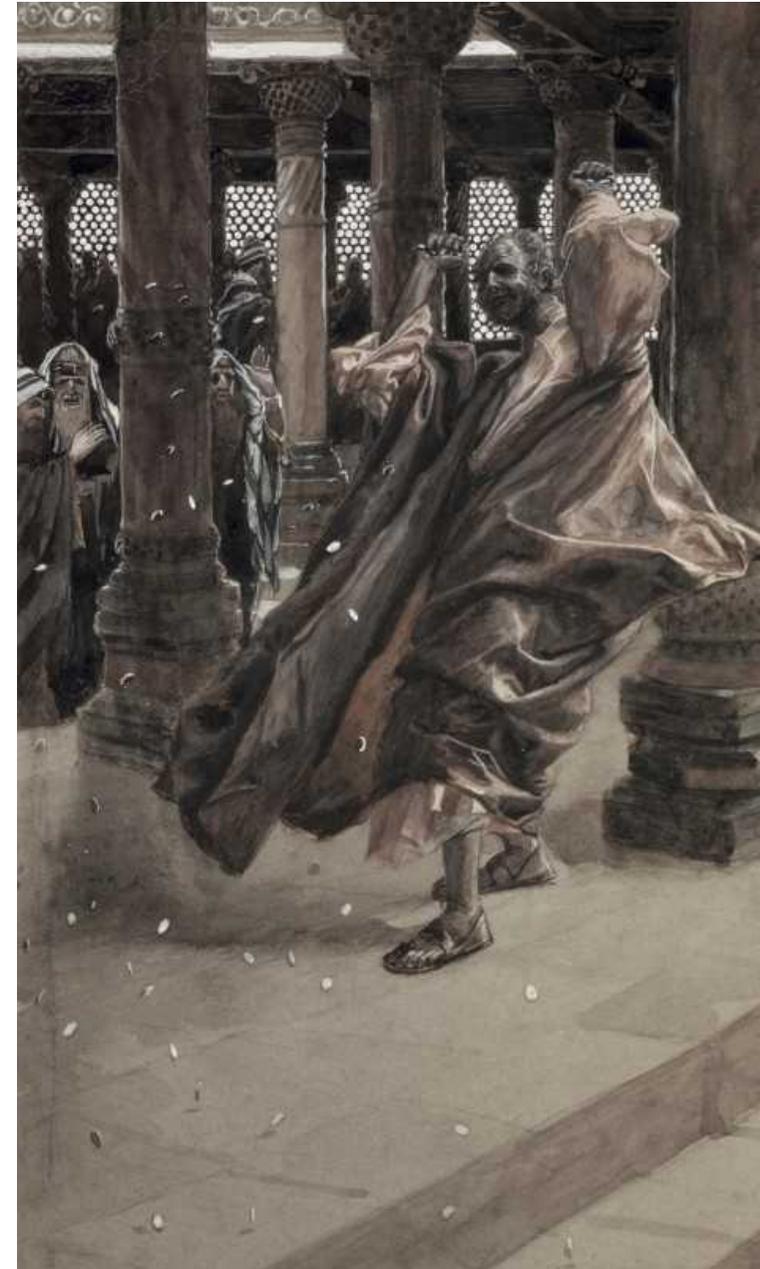
もしその牛が、男奴隷、あるいは女奴隷を突いたら、牛の持ち主はその奴隷の主人に銀貨三十シケルを支払い、その牛は石で打ち殺されなければならない。

■ ユダが、イエスを売った金額が、銀貨30枚。

➔ **死んだ奴隷の賠償額と同じ。**

非常に屈辱的な意味を持った。

■ イエス・キリストは、人々に仕える奴隷として、その身を犠牲に捧げられた。

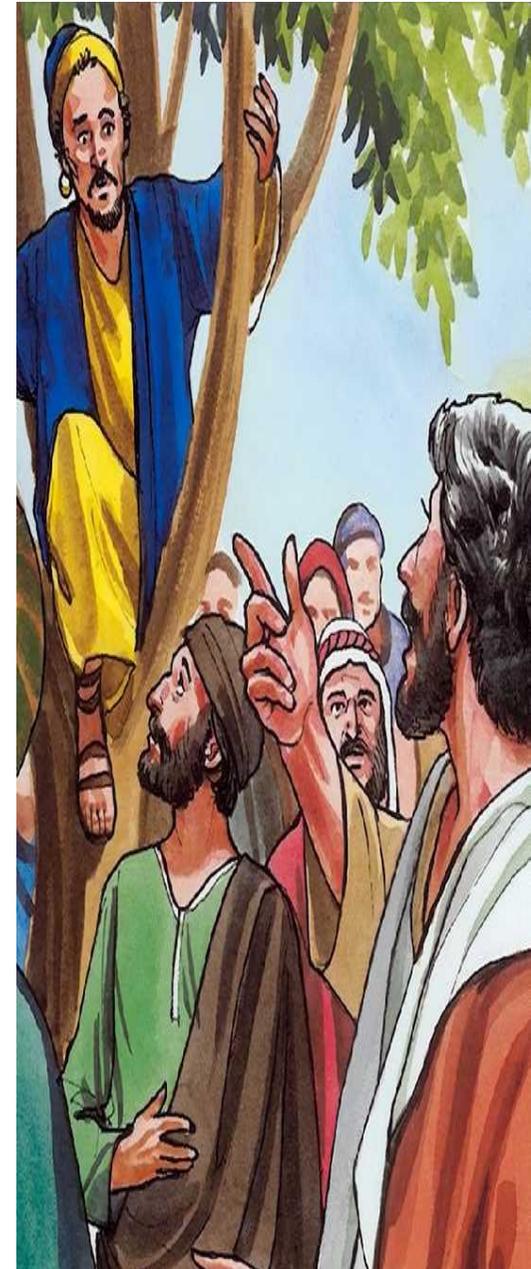


【窃盗に対する賠償】 出22:7

金銭あるいは物品を、保管のために隣人に預け、それがその人の家から盗まれた場合、もし、その盗人が見つかったなら、盗人はそれを二倍にして償わなければならない。

- 徴税人ザアカイは、主イエスに声をかけられ、招いた食事の席で、悔い改め、誰かからだまし取っていたなら、4倍にして返すと宣言した。
➡ 律法の規定では、賠償額は、2倍。

- 4倍としたところに、ザアカイの悔い改めの真実さと信仰が現れている。



【少数者保護】 出 22:21

在留異国人を苦しめてはならない。しいたげてはならない。あなたがたも、かつてはエジプトの国で、在留異国人であったからである。

■ エジプトの奴隷の苦難が、イスラエルの土台。

■ モーセも、40年の間、
在留異国人(寄留者)だった。

■ 寄留の民を、奴隷から解放された、
主の憐れみを体現することが求められる。



【安息年・安息日】 出23:11～12

七年目には、その土地をそのままにしておき、休ませなければならない。民の貧しい人々に、食べさせ、その残りを野の獣に食べさせなければならない。ぶどう畑も、オリーブ畑も、同様にしなければならない。六日間は自分の仕事をし、七日目は休まなければならない。あなたの牛やろばが休み、あなたの女奴隷の子や在留異国人に息をつかせるためである。

- 7年目の奴隷の解放。家畜も畑も安息を得る。
- 7日目の安息日は、イスラエルのすべての者、奴隷、寄留者、家畜に安息を与えた。
- 恵みの神は、民に安息を与えられる。



【イスラエルの三大祭】 出23:14～20

「年に三度、わたしのために祭りを行わなければならない。①種を入れないパンの祭りを守らなければならない。また、あなたが畑に種を蒔いて得た②勤労の初穂の刈り入れの祭りと、年の終わりにはあなたの③勤労の実を畑から取り入れる収穫祭を行わなければならない。」

①種入れぬパンの祭り(過越祭)

...イエスの十字架にかけられ、復活された。

②五旬祭(ペンテコステ)

...弟子たちに聖霊が降り、教会が誕生した。

③仮庵の祭り(秋の祭り)

...メシアの再臨、千年王国の到来を表すもの。



【主の御使い】 出23:20～23

「見よ。わたしは、使いをあなたの前に遣わし、あなたを道で守らせ、わたしが備えた所にあなたを導いて行かせよう。あなたは、その者に心を留め、御声に聞き従いなさい。決して、その者にそむいてはならない。わたしの名がその者のうちにあるので、その者はあなたがたのそむきの罪を赦さないからである。」

■ 主の御使い、第二位格の神・メシアがイスラエルを導く。

■ 「アブラハムが生まれるまえから、わたしはある。」

ヨハ8:58」



【約束の地での警鐘】 出23:24～33

■ 諸条項の最後が、約束の地での警告。

カナンの民の偶像礼拝に飲み込まれないように!!

「23:25 あなたがたの神、【主】に仕えなさい。主はあなたのパンと水を祝福してくださる。」

■ 主に従えば祝福があり、主に逆らえば懲らしめがある。

➡イスラエルを導くアメとムチ。祝福と呪いの原則

■ カナン征服に先立って、主が敵をかき乱す。

土地が荒れ果てぬよう、主は、時間をかけて導かれる。

「23:31 わたしは、あなたの領土を、葦の海からペリシテ人の海に至るまで、また、荒野からユーフラテス川に至るまでとする。」

この約束の成就是、メシア再臨後、千年王国において!!





Ⅱ. 律法の恵みを味わおう

③条約の締結

出エジプト記24章

【イスラエルの応答】 出24:1～4

主は、モーセに仰せられた。「あなたとアロン、ナダブとアビフ、それにイスラエルの長老七十人は、【主】のところに上り、遠く離れて伏し拝め。モーセひとり【主】のもとに近づけ。他の者は近づいてはならない。民もモーセといっしょに上ってはならない。」

そこでモーセは来て、【主】のことばと、定めをことごとく民に告げた。すると、民はみな声を一つにして答えて言った。

「【主】の仰せられたことは、みな行います。」

それで、モーセは【主】のことばを、ことごとく書きしるした。そうしてモーセは、翌朝早く、山のふもとに祭壇を築き、またイスラエルの十二部族にしたがって十二の石の柱を立てた。

■イスラエルの民は、臣民として、王なる神への忠誠を誓い、王なる神の民となった。



【血の契約】 出24:5～9

それから、彼はイスラエル人の若者たちを遣わしたので、彼らは全焼のいけにえをささげ、また、和解のいけにえとして雄牛を【主】にささげた。

モーセはその血の半分を取って、鉢に入れ、残りの半分を祭壇に注ぎかけた。

そして、契約の書を取り、民に読んで聞かせた。すると、彼らは言った。「【主】の仰せられたことはみな行い、聞き従います。」

そこで、モーセはその血を取って、民に注ぎかけ、そして言った。

「見よ。これは、これらすべてのことばに関して、【主】があなたがたと結ばれる契約の血である。」

それからモーセとアロン、ナダブとアビフ、それにイスラエルの長老七十人は上って行った。



民は、再三、神に誓った。

シナイ契約は、
民の命をかけた
血の契約

【和解の食事】 出24:10～13

そして、彼らはイスラエルの神を仰ぎ見た。
御足の下にはサファイヤを敷いたようなものがあり、透き通っていて青空のようであった。

神はイスラエル人の指導者たちに手を下されなかったのので、彼らは神を見、しかも飲み食いをした。

【主】はモーセに仰せられた。「山へ行き、わたしのところに上り、そこにおれ。彼らを教えるために、わたしが書きしるしたおしえと命令の石の板をあなたに授けよう。」

そこで、モーセとその従者ヨシュアは立ち上がり、モーセは神の山に登った。

* 主の臨在の現れ

イスラエルの民

長老たち

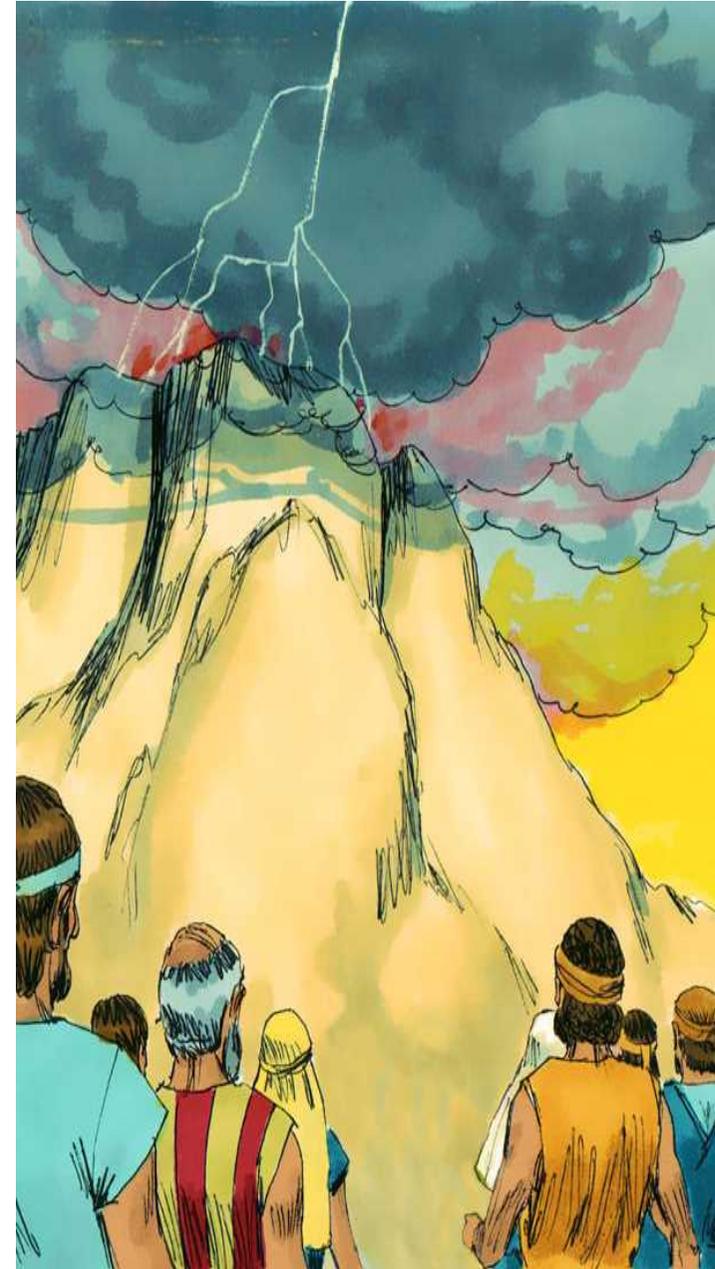
モーセとアロン

核心の主へ近づいていく!!

【主の安息の内に招かれるモーセ】 出 24:14～18
彼は長老たちに言った。「私たちがあなたがたのところに帰って来るまで、ここにいなさい。ここに、アロンとフルとがあなたがたといっしょにいます。訴え事のある者は、だれでも彼らに告げるようにしなさい。」
モーセが山に登ると、雲が山をおおった。

【主】の栄光はシナイ山の上にとどまり、雲は六日間、山をおおっていた。七日目に主は雲の中からモーセを呼ばれた。* 【主】の栄光は、イスラエル人の目には、山の頂で燃え上がる火のように見えた。
モーセは雲の中に入って行き、山に登った。そして、モーセは四十日四十夜、山にいた。

■モーセが神の安息の内にいたのは、40日。しかし、**主は、永遠の安息の中に、私たちに招かれる。**





IV. まとめと適用

神の恵みは、契約に基づく恵み
クリスチャンへの約束と恵みとは？

【律法は、恵みである】

例)ユダヤ人がこどもに律法を学ばせる時、最初にする儀式とは？

律法の上に、セロファンを敷き、蜂蜜を垂らしてなめさせる。

➡律法は、恵みなのだと体験的に学ばせる!!

■「恵み」 ➡ ヘブル語で、「ヘセツド」

聖書の記す「恵み」とは、「契約に基づく恵み」

■ 神の恵みの確かさを、神の契約が保証している。

■ 神は、絶対に約束を守られる。その約束が、私たちの救いの礎。

【イスラエルが、律法で約束された恵みとは？】

- イスラエルは、先祖アブラハムへの一方的な約束のゆえに、奴隷から解放され、神の民、宝の民とされた。
- 神は、イスラエルが、地上においても確かな恵みを得ていくため、イスラエルを導く律法を与えられた。
- 律法は、イスラエルに、自らの抱える罪の問題を突きつけたが、その結果として、メシアを求める思いを強く抱かせた。
- メシアによる贖いを受け入れることが、最終的な約束の成就である千年王国へと、イスラエルを導く。

【すべてのクリスチャンに、主が約束された恵みとは？】

- 「主イエス・キリストは、私の罪のために十字架にかけられ、死んで葬られ、復活された。」
- この「福音」を信じた者に、永遠の恵みが約束されている。
- 世の終わりの大患難を免れて、主イエスのもとへ挙げられ、主が回復された、神の王国に、永遠に恵みの内に生きること。
- 途方もない約束が必ず実現することを、律法は記している。律法が示したメシアは、来られ、救いの御業を成し遂げられた。
- 主の約束に信頼し、今を生きる力を得よう。主は再び来られる!!

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
- ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
- ③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

律法(りっぽう)が示(しめ)す メシアは、すでに来(こ)られ、
その御業(みわざ)は、なしとげられました。

ただ、福音(ふくいん)を信(しん)じて あたえられた、
永遠(えいえん)のめぐみ。

主(しゅ)のお約束(やくそく)の学(まな)びによって、
確(たし)かな命(いのち)として、味(あじ)わわせてください。
主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」